



袋井市議会議員

# 立石やすひろの 議会レポート

Vol.1

令和4年1月発行

## コロナ禍の令和3年をふり返る。



高校生とまちづくりを話し合う  
12月22日袋井商業の生徒と交流、住みよいまちとは？ 自分ができることは？ をテーマに話し合いました。(左奥)

### 「令和4年」の新年を迎えて

令和4年の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染は、第5波は終息したものの、オミクロン株が日本でも急拡大しており、引き続き3密を避けた生活が必要な状況です。

11月定例会では3回目のワクチン接種事業や子育て世帯への臨時特別給付金事業などが計上されました。なお、今年度のコロナ関連事業は11事業、34億2千万円が予算化されています。

コロナ禍にあって様々な問題が山積していますが、皆様のご意見をいただくなかで住みよいまちづくりに向けて引き続き取り組んでまいる所存です。

今回の議会レポート第1号は、コロナ禍の令和3年をふり返り、皆様に活動をご報告する内容としました。

本年も旧倍のご指導をいただけますよう、宜しく願い申し上げます。



#### 【コロナ禍の令和3年をふり返る】

contents

11月定例会 議会報告 …………… 2	トピックス …………… 6
11月定例会 「代表質問」…………… 3	横須賀高校と池新田高校の統合
9月定例会 「一般質問」…………… 4	活動スナップ …………… 7～8
6月定例会 「一般質問」…………… 5	所属会派・委員会のご紹介 …………… 8

11月議会定例会開催される

11月22日～12月17日まで

■開会概要

11月22日に開会し、一般会計補正予算(コロナワクチン接種事業、子育て世帯への臨時特別給付など)をはじめ、20議案が市長より提出され、審議の結果、可決承認され、12月17日に26日間の会期を閉じました。

■提出された主な議案

- 令和3年度袋井市一般会計補正予算[第7号](コロナ接種等)
- 令和3年度袋井市一般会計補正予算[第8号](人件費補正等)
- 令和3年度袋井市一般会計補正予算[第9号](子育て世帯給付等)
- 工事請負契約の締結(浅羽海岸「中新田地区」の防潮堤整備)
- 袋井市運動施設条例の一部改正 他15議案

■市長の市政報告より(抜粋)

①新型コロナウイルス感染症対策

10月31日現在、接種率は1回目78.2%、2回目74.2%となっているが、3回目の接種は、2回目より8か月以上経過した方を対象に医療従事者から順次進める。

②経済対策

袋井応援商品券は57,301冊販売し、使用金額は約6億8千万円余となった。袋井市経営持続特別給付金は、130件、3,400万円の交付を決定。

③オンラインを活用した授業

緊急事態時、タブレットの家庭持ち帰りも開始し、家庭学習も推進中。

④市民のデジタル化

マイナンバー普及率は11月7日現在46.9%、県下35市町中2位、23市の中では1位。

⑤袋井駅南地区まちづくり事業

田端東遊水池公園や商業施設「ノブレスパーク」袋井店が完成オープン。



スターバックスや商業施設「ノブレスパーク」がオープン



# 会派代表の市政に対する「代表質問」

## ■ 質問概要

令和4年度の予算編成にあたっての市長の考え方や、本市の財政について  
また、昨今話題になっている①地球温暖化問題や②デジタル社会を見据えたDX(デジタル変革)に対する本市の進め方について  
さらに、③ゴミ減量化問題などを中心に、会派を代表して大庭通嘉議員が質問しました。

## ① 地球温暖化対策

**問** 市として二酸化炭素排出実質ゼロ表明をする考えはないか。

**答** 公共施設への再生可能エネルギー由来の電力導入などの見通しを立てた上で、2050年カーボンゼロ表明をしたい。

**問** 温室効果ガス削減目標はどうするか。

**答** 市の環境基本計画の見直しに当たり、国の目標値の2013年度比マイナス46%に合わせて修正する予定である。

**問** 電力の地産地消の進め方はどうか。

**答** 公共施設への太陽光発電設備を可能な限り整備をする。屋根置きに限らず、あらゆる設置方法を検討し、地産電力の拡大を図りたい。



公共施設への太陽光発電の導入(イメージ写真)

## ② デジタル化の推進

**問** 本市のICT推進計画の推進体制は。

**答** コニカミノルタ株式会社を持つ、ノウハウなどを生かし、業務の見直しを行っていく。職員でなくてもできる業務については、AIやRPAなどにより自動化する。

**問** 本市のDX「デジタル・トランスフォーメー

ション」(デジタル変革)の推進策は。

**答** 令和4年度から次期ICT推進計画の策定に着手する。AIやIoTを活用した行政手続きサービスの普及定着化や、LPWAやVRを使い防災、防犯対策の強化、文化活動や観光振興など、先端技術を活用し官民で積極的に推進したい。

**問** デジタルデバイド(情報格差)の解消に向けての解決策は。

**答** 地域や企業の皆様とも連携し、市民目線による情報格差対策に取り組んでいきたい。

## ③ ゴミ減量化

**問** ゴミ袋有料化に向けての市民説明会を終えての今後の市の進め方は。

**答** 令和4年4月からのゴミ袋有料化は見送り、分別の徹底による可燃ゴミの削減に取り組む。2030年までに30%の減量目標として取り組み、削減が困難だと判断した際には、有料化や記名式の導入をお願いする。まず来年度からは、月2回の資源・埋め立てゴミの収集と併せて、雑紙(ざつがみ)について回収できるよう検討したい。

## ■ その他の質問事項

- 令和4年度の予算編成方針
- 本市の財政について ほか

●本レポートに掲載の「代表質問」「一般質問」は一部を抜粋したものです。掲載のQRコードで、または直接市ホームページにアクセスしていただければ、全体のビデオ録画をご視聴いただけます。



# 立石の市政に対する「一般質問」

## ■質問概要

- ①平成29年5月より、自治会にも個人情報保護法が適用されることとなったことを踏まえ、規定例データの自治会への提供などの支援を提案しました。
- ②ごみ処理有料化説明会での意見を踏まえ、ごみ減量化のロードマップを提示することと、今すぐできる容器包装プラなどの分別の徹底を提案しました。

## ① 自治会の個人情報保護

**問** 自治会に対して、個人情報保護法の適用を促進するためにどのような指導を行っているか。

**答** 平成29年5月の個人情報保護法の改正に伴い、自治会活動も対象となることから、自治会連合会長及び自治会長に対して、安全に管理することをお願いしている。

**問** 自治会向けの規定例を示していただいて、ワードデータでいただければ、自治会の独自性に合わせて変更が容易となり、自治会の規約制定のハードルが低くなる。こうした支援をしてほしい。

**答** 今後、自治会が個人情報の取扱いのルールを定めていく際の手助けとなるように、先進自治体の個人情報の取扱い規程の事例をはじめ、既に市内で規定をされている自治会の規定なども参考にしながら、自治会に向けての規程例を作成してお示するとともに、市のホームページにおいて提示してまいりたい。

## ② ごみ処理有料化への提案

**問** ごみ処理有料化後に、その収益を活用してリサイクル対策を行うと説明しているが、対策の内容と実施時期を問う質問が多く見られる。これは、ごみ減量化の目指す姿、あるべき姿を市民と十分に共有できてないからだと考える。有料化後のごみ減量化目標と、それを達成するために行うリサイクル対策を言葉の説明だけでなく、分かりやすいロードマップを市民に示すべきではないか。

**答** 有料化後のごみ減量目標と、その達成に向けたロードマップですが、市民説明会の中でも、減量目標やロードマップを示すべきと意見を頂いている。説明会終了後、速やかに、計画及びロードマップを作成し、広報ふくろいや市ホームページなどでお示したいと考えている。



中遠クリーンセンター

**問** 有料化する前に、今すぐ始められる分別を徹底すべきではないかとの意見が多く見られる。容器包装プラスチックは平成28年の4月まで分別していたが、その後、可燃ごみの袋に混入してもいいということになった。これによって可燃ごみが増加していると思われるが、まずは容器包装プラスチックの分別、雑紙や剪定した枝、こうしたものの分別など、できることから市民に協力を求めて推進すべきではないか。

**答** 燃やせるごみの中に多く含まれている雑紙や容器包装プラスチックをしっかりと分別していただくことがごみを減らす第一歩だと考えている。これまで以上に、市民の皆様分別の徹底をお願いするとともに、分かりやすい分別方法や回収場所等を紹介する動画やチラシを作成し、市ホームページや班内回覧等で啓発してまいりたい。



# 立石の市政に対する「一般質問」

## ■質問概要

- ① 仕事の生産性向上には心身の健康維持が前提。市職員の長時間勤務とメンタル不調者発生の実態を踏まえ、時間外勤務の縮減などの働き方改革を提案しました。
- ② 本市の今後の高齢化の進展を踏まえ、介護予防体操(でん伝体操など)や日常生活支援などの地域の支え合い活動が抱える課題改善を進めるよう提案しました。

## ① 市職員の働き方改革

**問** 時間外勤務が月80時間を超える職員が実人数で30人いる。複数月平均で80時間を超えると、脳血管疾患や虚血性心疾患の発症と、業務との関連性が高まる。業務改善によりこうした職場、仕事をなくしてほしい。

**答** 30名の主な内訳は、ワクチン接種、特別定額給付金、選挙、税務、危機管理の職員となる。勤務辞令の発令や部内・課内での応援体制により業務を緩和している。AIやRPAの導入、テレワークの環境の充実など、ICTの活用も進めたい。

**問** メンタル不調による病気休暇・休職となった職員は、過去の5年間増加傾向になっている。メンタル不調者を早期に発見して、早期のケアにつなげるために、どのような措置を講じているか。また、パワーハラスメントの発生を防止するために、どのような措置を講じているか。

**答** 平成31年4月に総務課へ職員の健康ケアを担当する「職員いきいき係」を新設し、気軽に相談できる体制を整えた。身体的、心理的な相談、職場環境の不満などについて、素早く職員の気持ちに寄り添った対応を行うよう努めている。外部のカウンセラーによるカウンセリングの実施や、年1回実施しているストレスチェックの判定結果から、医師やカウンセラーにつなげることなど、相談体制の充実に努めている。なお、平成30年4月に、既に職場におけるハラスメントの防止等に関する要領を制定しており、相談する窓口を総務課とし、相談があった場合

には、総務課が問題の事実確認を行い、速やかに、総務部長を委員長としたハラスメント対策委員会を設置し、事実の検証と確認、状況に応じた措置を審議していくこととなっている。

## ② 高齢者の介護予防、生活支援

**問** でん伝体操を開催している会場は、コロナ禍の影響もあってか、今までのような形で増えている。担い手の不足で回数を減らす会場も出ている。今後どのような継続支援をするのか。

**答** 保健師、管理栄養士等が定期的に訪問し、体力測定や健康教室を実施することにより、参加者が安心して相談できる関係を築くことができ、継続意欲や健康意識を高めている。今後、健康づくりボランティア等に、新たな担い手となっただけのよう働きかけ、活動継続を支援する。



住民主体の  
でん伝体操会場

**問** 要支援1・2の方や要支援相当の方に、一定の介護予防体操と生活支援サービスを行うことにより、今年度より活動に係る補助金が袋井市より交付される。対象団体がたくさんあるが、制度をどのように周知していくのか。

**答** 4月から5月にかけて、地域包括支援センターや住民主体の生活支援活動を進めている団体に制度を説明した。今後はでん伝体操や居場所など、地域で介護予防や生活支援等の活動を行っている団体に広く周知し、補助金を活用していただけるよう支援していきたい。

# 横須賀高校と池新田高校の統合問題を考える。

## 両校の統合問題に関わるこれまでの経緯

### ●県教育委員会による両校統合の方向性

平成30年3月、県教育委員会において『ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画』が決定されました。この中で、「充実した教育を実施するには一定の学校規模(概ね1学年6～8学級)が必要であることなどから地域の実情に配慮しつつも、1学年4学級以下になるような生徒数の少ない学校は、発展的に将来を見据えた新構想高等学校への改編を検討する」との方向性が示されました。

横須賀高校と池新田高校は令和8年度を目途に改編するとされ、令和3年度はその候補地が示される年となっています。今年度の両校の学級数は、1年が3学級、2年が4学級、3年が4学級と共に同じ数となっています。

### ●横須賀高校の存続に向けた地元の動き

平成29年12月に「横須賀高校を守る会」が33名で発足しました。令和2年8月に「南遠地域教育環境整備推進協議会」に移行し、会員は現在170名を超えています。

「守る会」発足以降、存続を求める署名活動、掛川市議会・袋井市議会での存続を求める意見書の可決、県教育委員会との意見交換、県知事への要望、事業所応援団(仮称)の結成活動、新聞折り込みによる広報活動などを行っています。

昨年10月28日には、掛川市大須賀支所にて同協議会と県教育委員会の意見交換会が開催されました。この席で久保田掛川市長は横須賀高校存続の強い思いを訴え、また、同協議会の水野会長は、催しの運営や産業、祭り文化といった地域振興やまちづくりに横須賀高校が深く関わっており、同校が地域に欠かせないことを説明しました。

## 横須賀高校の在籍者の状況(令和3年度)

### ●浅羽中学卒業生が393人中91人で最多

生徒は、掛川南部、浅羽、福田、竜洋地区の出身者が全体の約8割(袋井市、磐田市の出身者が全体の半分以上)を占めています。卒業中学別では、浅羽中学が91人で全生徒の23%と最多になっています。浅羽中学の次に多いのが大須賀中学の71人です。このことから、浅羽・笠原地区にとっては、横須賀高校の存続は大きな意味を持っています。

市町	生徒数	割合
掛川市	179人	45.5%
袋井市	115人	29.3%
磐田市	90人	22.9%
その他	9人	2.3%
計	393人	100.0%

※この表は、令和3年10月28日、  
県教育委員会より提供された資料に基づいています。



横須賀高校

# 議員活動・地元活動のご紹介

4月



当選証書の授与式

5月



浅羽南小児童の見守り

地元のPTA・自治会・学校と連携、朝の横断歩道での安全確保に努めています。

7月



大雨後の三沢川と弁財天川を確認

雨が小降りになった7月3日、奥三沢から山崎、中新田までの河川の増水状態を確認しました。



訓練中の消防団を  
激励

梅山地内での第四分団の放水訓練を見学、団員を激励しました。



「めだか号」の  
運転手

月2回、浅羽東地区の協働運行バス「めだか号」の運転手をしています。



小笠山工業団地の造成地を視察

岡崎地内の現場を視察、造成の発生土を活用し浅羽海岸の防潮堤が整備されます。

8月



浅羽海岸の  
防潮堤を視察

市施工分の高さ10mは令和5年度に、県盛り土分を加えた高さ12mの完成は令和7年度の予定です。

9月



笠原小の避難場所  
を視察

台風14号の接近に伴い、市の指定避難場所の夜間の開設状況を視察しました。



山崎の農家を訪問

夜間ハウスの近くにイノシシが現れるようになり、心配していました。

10月



### ベトナムの大学生と交流

フエ外国語大学日本語学科の学生と週1回Zoomで交流、相互理解を深め学習を支援しています。



### めだか公園の愛護活動

東浅羽めだか公園愛護会の仲間に入れていただき、清掃作業に参加しました。

11月



### 自治会長会議へ出席

浅羽東地区の自治会長会議とまちづくり協議会に出席、市政とのパイプ役をはたしています。

12月



### 商工会の会議へ出席

地元商工会の理事会へ出席、事業者の皆様に関連する市政情報を報告しています。



### 交通安全の街頭指導

梅山北交差点にて、年末の交通安全県民運動の街頭指導を行いました。



### 11月定例会の議場にて

市民クラブ会派として大庭通嘉議員と一緒に活動しています。

## 所属する会派・委員会等のご紹介

### 所属する議員会派

- 市民クラブ
- 所属者
- 大庭通嘉 議員(会派長)
- 立石泰広 議員

### 所属する委員会等

- 【市議会】
- 民生文教委員会 委員
- 広報委員会 委員

### 【市議会以外】

- 袋井市森町広域行政組合議会 議員
- 袋井市国民健康保険運営協議会 委員
- 県道袋井大須賀線外二線整備促進期成同盟 委員
- 二級河川弁財天川水系改修促進期成同盟 委員

## 立石やすひろ事務所

袋井市新堀112  
TEL 090-6766-6071 FAX 0538-86-3728  
E-mail: info@tateisi-sg.com



## 立石のホームページ

<https://www.tateisi-sg.com>



■「立石やすひろの議会レポート」は自費によるもので、公費(政務活動費)は使っていません。■